

<参考>

## インドネシアの電力事情

### 1. インドネシアと当社の比較

	インドネシア*	当社
発電設備（電気事業用）	2,921 万 kW	6,398 万 kW
水力	359 万 kW	899 万 kW
火力(地熱含む)	2,562 万 kW	3,769 万 kW
原子力	-	1,731 万 kW
最大電力	2,131 万 kW	6,430 万 kW(2001 年 7 月)
販売電力量	1,212 億 kWh	2,890 億 kWh

（インドネシア：2007 年 12 月、当社：2008 年度末）

\*インドネシア国有電力会社（子会社含む）

### 2. インドネシア国有電力会社について

インドネシア国有電力会社は、エネルギー政策の企画立案を担当するエネルギー鉱物資源省の管轄の下にある。国有電力会社およびその子会社、I P P が発電部門を受け持ち、送電、配電を国有電力会社が一貫体制にて運営している。

### 3. 電力需要

電力需要は、アジア通貨危機などの影響により 1998 年に一時停滞したが、経済の回復に伴い上昇傾向にある。

パイトン発電所が連系されているジャワ・バリ系統では、2025 年までに石炭火力とガスコンバインド・サイクルを中心に累計で 5,456 万 kW を開発する予定である。

以 上